

備前市事務事業評価表

事務事業名	市議会庶務事業		コード	06-01-09-03
			担当課・係	議会事務局・庶務調査係
			担当者	金井 和字
事業実施期間	平成17年3月22日から		電話	0869-64-1803
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり		
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営		
	小項目(施策)	その他管理事務(議会)		

事業について	
目的 (何のために)	市議会としての対外的な事務、議員の福利厚生、議長公務の円滑な遂行の支援、会議施設の維持管理など市議会の根幹に係る庶務事務を効率的に行う。
対象 (誰・何を対象に)	市議会議員、正副議長
内容	議長会や各種協議会に関する事務、議員報酬・共済年金に係る事務、議長の秘書事務、会議施設(議場・委員会室)及び正副議長室など施設の維持管理、議会費予算の管理、事務局職員の研修など

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
議長車運行回数	75 回	89 回	
議長の公務出張数	96 回	92 回	
職員研修への派遣数	7 人	11 人	
議員報酬・共済費・費用弁償	285,270 千円	185,800 千円	
議員数	(合併による在任期間延長) 46 人	(改選等による平均値) 29.1 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	287,129	間接補助金等	188,143	直接事業費	16,640	間接補助金等	0			
	人件費	14,637	受益者負担	16,640	人件費		受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	301,766	一般財源等	301,766	合計	204,783	一般財源等	204,783	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.60 人	2.00 人	
結果指標	議長車運行回数	議長車運行回数	
結果指標量	75	89	
単位	回	回	
対前年比	-	118.67%	0.00%
活動にかかるコスト	949,545 円	1,905,904 円	
単位当たりコスト	12,661 円	21,415 円	
結果指標名	職員研修への派遣数	職員研修への派遣数	
結果指標量	7	11	
単位	人	人	
対前年比	-	157.14%	0.00%
活動にかかるコスト	505,990 円	1,271,170 円	
単位当たりコスト	72,284 円	115,561 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	議長公務の安全かつ円滑な遂行が行えるようにするため、専用の議長公用車と運転員を確保し運行している。		
成果指標名	議長車運行率	式又は説明	議長車運行回数 議長公務出張数 (議長公務出張を議長車により行った割合により、議長公務が安全かつ円滑に遂行できたか検証する)
	17年度	18年度	
成果指標量	78.1%	96.7%	
対前年比	-	123.83%	0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	H18

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等：)	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	議長長の公務を適正に管理し、円滑な職務の遂行を補助するほか、議員の報酬、費用弁償の支給、議員共済年金事務、議会施設の維持管理、事務局の運営など、妥当なものである。 なお、市民ニーズとして「開かれた議会」があることから、それを旨とした議員の動きを支援することで「より開かれた議会」の実現に努める。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	運転員(総務部総務課職員兼任)の配置により、議長車運行が円滑に行え、公務遂行への支障がなくなり運行の安全性も増した。 なお、コスト(人件費)が増加しているが、議会としての対外的なもの、公務遂行の円滑化、事務局職員の庶務事業の効率化が大きく改善されており、相殺して余りがある。 職員研修は、県内事務局職員研修の開催市であったため全職員で対応したためコスト(人件費)が増加している。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> B 課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	議長車の運行を議長公務の全てに対応できる体制が完了した。運行率が100%でないのは、議長の都合との調整により運行しなかったためであり、目的は達成できている。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	議長公務への対応について目的は達成できている。なお、兼任運転員が所属する総務課において、集中改革プランで民間委託等への検討が行われている。しかし、民間委託では、市の要人の会話等にかかる情報管理に問題があると思われる。
目標値	結果指標量	結果指標量	

総合評価	事務局職員が議長車の運行から解放され、庶務事務が効率的に実施できるようになった。また、議長の出張など公務遂行が円滑にかつ安全に行えるようになった。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果